（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター虹の家　保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	令和7年1月22日		～	令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26	（回答者数）	12
○従業者評価実施期間	令和7年1月31日		～	年　月　日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	2	（回答者数）	2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月22日		～	令和7年2月14日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	15	（回答数）	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門性を有した職員が訪問支援を行っている。	・常に必要性に応じて対応ができるように、訪問日程を調整している。	・今後も継続する。
2	・自施設の児童発達支援や放課後等デイサービスを利用している児童について、児童発達支援管理責任者と話ができる環境である。	・訪問支援員の見立てや今後必要だと考えられる支援について、その都度検討することができている。また、訪問先施設と保護者へお渡ししている報告書も共有している。	・今後も継続する。
3	・職員間で子どもの状態や課題、また、訪問先の環境も含めた支援の検討を常に行っている。	・連絡体制を常に取り、子どもの状態を共有している。また、訪問先で気付いたことや、課題と感じたことなどについても共有し、支援内容を検討している。	・今後も継続する。
4	・姶良市の児童発達支援センターとして、保育所等訪問支援のグループ会議を開催し、姶良市の支援体制の充実を図っている。	・様々な事業所との連携を行い、姶良市における課題や改善すべき点について把握し、取組を行っている。	・会議のさらなる充実に向け、実働していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ニーズに応じられる職員配置が必要である。	・現在の職員が２名体制である。保育所等訪問支援は、児童発達支援センターに必置のサービスであり、地域支援の充実にも必要なサービスである。職員の補充を検討しなければならない。	・ニーズに応じた職員配置を検討。
2	・施設にあまり来所されない保護者への支援体制	・お会いする機会が少なく、現在の支援についてのお伝え等が後手後手になってしまう。	・現在、LINEを導入しているため、仕事で忙しい保護者との連絡がうまく取れるように工夫していく。